

患者さんおよびその保護者の方へ

当科では食物経口負荷試験の過去の検査結果について後方視的に調査を行っております。患者さんのデータを用いて行いますが、患者個人のお名前や個人を特定できる情報が公表されることは一切ありません。

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

研究課題名	食物蛋白誘発胃腸炎症候群（FPIES）の予後に関する研究
研究責任者	小児科 國津智彬
研究目的	日本で2019年頃を境に食物蛋白誘発胃腸炎症候群（FPIES）の患者さんが増加していますが、この疾患がいつ頃治りやすいかに関してはよくわかっていません。これまでの研究では最後に症状が出てから1年後くらいには半数以上の患者さんが治っていると報告されています。そこで、当院での食物経口負荷試験の結果からFPIESの患者さんがいつ頃耐性を獲得するかに関して調べることにしました。
研究概要	当院で食物経口負荷試験を行なったFPIESの患者さんの診療記録から、性別・家族歴・発症年齢・IgE/TARC値・食物経口負荷試験の結果とその後の経過などの情報を使用します。
対象となる患者さん	2015年1月から2025年4月の期間に、FPIESが治っているかを確認する目的で食物経口負荷試験を施行した方が対象です。
本研究の適正性について	患者さんのデータは匿名化され、その情報も厳重に保管されますので、個人情報公表されることは一切ありません。また得られたデータを本研究の目的以外に使用することはありません。なお、本研究は済生会守山市民病院の倫理審査委員会で承認を受け行っております。情報は研究終了後5年間保存し、その後破棄します。研究の資金源等に関する利益相反はありません。解析結果は学会発表・論文投稿をさせていただきますが、患者さんの個人情報公表されることは一切ありません。
研究への参加辞退をご希望の場合	この研究に関して新たに患者さんにしていただくことや負担は特にありません。本研究への参加を辞退される場合は、いつでもご遠慮なく研究責任者までご連絡ください。参加を辞退されても患者さんが診療の上で不利な扱いを受けることはありません。本研究について直接おたずねになりたい場合は、下記までお問合せください。 <p style="text-align: right;">2025年2月</p> お問合せ先 ; 済生会守山市民病院 小児科 研究責任者 ; 國津 智彬 電話番号 ; 077-582-5151